

科目名	看護科学特別実習(精神CNS)Practice in Nursing
科目番号	01EA402
授業形態	実習(100%)
標準履修年次	2年次
実施学期・曜時限等	春学期集中
実施場所	
単位数	2単位
担当教員名	森 千鶴 Mori Chizuru 菅谷智一 Sugaya Tomokazu
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	なし
オフィスアワー等	4B棟502室 オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問すること mori@md.tsukuba.ac.jp
授業の到達目標 (学習成果)	(1) 精神専門看護師が実践する看護の対象、援助方法、評価について述べるができる (2) 精神専門看護師が実践する院内の看護師に対する教育的な関わり、精神看護の質向上のための教育活動について述べるができる (3) 精神専門看護師が実践するコンサルテーションの特徴とその方法について述べるができる (4) 精神専門看護師が実践する調整を必要とする問題、調整する際の留意点、具体的方法について述べるができる (5) 精神専門看護師が実施あるいは指導している研究活動の目的・内容について述べるができる (6) 精神専門看護師が実践する精神疾患患者とその周りにいる人々との間におこる倫理的問題とその対応、調整について述べるができる (7) チーム医療において精神専門看護師が関わる精神科診断、治療について述べるができる
他の授業科目との関連	精神看護専門看護師養成課程 専門科目
履修条件	精神看護専門看護師養成課程履修希望者に限る
授業概要	専門看護師を役割モデルとしながら、院内や病棟看護師の教育及び臨床研究指導、コンサルテーション、調整、患者及び家族への倫理調整に関わる活動などを学び、精神看護専門看護師としての役割と機能を果たす能力を習得する
キーワード	専門看護師の役割と機能、看護師教育、臨床研究指導、コンサルテーション、倫理調整

<p>授業計画</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生が自己の課題を明確にし、実習計画を立案する 2. 病院内の専門看護師に同行し、精神看護専門看護師の役割と機能(実践、教育、調整、相談、研究、倫理調整)について参加観察を行う 3. 病院内で精神看護専門看護師が関わっている精神科診断、治療の場面に参加観察する 4. 参加観察したあるいは実践した事柄について、文献を用いて考察し、自分の意見として論理的にまとめ、カンファレンスでディスカッションを行う 5. 実習美琴に実践、教育、調整、相談、研究、倫理調整に関する実習内容を記録し、内容を分析、文献を用いて精神看護専門看護師の果たすべき役割について考察する 6. 実習を評価し、目標達成に向け、実習計画の修正を行う 7. 精神看護専門看護師、看護師、医師、精神保健福祉士、臨床心理士、作業療法士などとチームとなり、連携、調整を図りながら実習を勧める 8. 適宜、精神看護専門看護師、教員からスーパーバイズを受ける 9. 診断・治療場面においては医師からスーパーバイズを受ける
<p>学修時間の割り当て及び授業外における学修方法</p>	<p>実習100%(東京武蔵野病院、国立国際医療研究センター病院他)</p> <p>日々体験したことをまとめ、文献を活用して実習記録として、毎日実習指導担当の精神看護専門看護師並びに担当教員に提出する</p>
<p>成績評価方法</p>	<p>4/5以上の出席を単位取得の要件とする 実習中の記録並びに学習のまとめとしてレポートを提出する</p> <p>評価基準</p> <p>A+ 精神看護専門看護師の6つの役割と機能について実践事例を文献を活用して分析し、論理的に述べるができる</p> <p>A 精神看護専門看護師の一部の役割と機能について、実践事例を分析し、論理的に述べるができる</p> <p>B 実習で実践したことの意義を理解し、論理的にまとめて述べるができる</p> <p>C 実習で実践したことの役割と機能についてまとめて述べるができる</p> <p>D 実習での体験について具体的に述べるにとどまっている</p>
<p>教材・参考文献・配布資料等</p>	<p>特になし</p>
<p>その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)</p>	<p>専門看護師の役割と機能について関連する論文を熟読しておく</p>